

添付資料一覧表

ここで記されている禁煙タクシー訴訟とは、「東京地方裁判所 平成16年(ワ)第15532号 損害賠償請求事件 原告 安井幸一ほか25名 被告 国」を指す。

[本申し入れに関する重要資料]

	資料名	概要
1	緊急声明文	禁煙タクシー訴訟原告が判決を踏まえ作成した声明文。
2	タクシー禁煙化のお願い	禁煙タクシー訴訟元原告・現役ドライバー平田信夫氏による国土交通省 北側大臣へのお願い文書。 内容 禁煙タクシー訴訟に至るまでの経緯 タクシー全面禁煙化実施の際の留意点 他

[禁煙タクシー訴訟についての資料]

	資料名	概要
3	訴状	禁煙タクシー訴訟の訴状。
4	判決文	東京地裁より言い渡された禁煙タクシー訴訟の判決文。
5	判決文要旨	東京地裁より言い渡された禁煙タクシー訴訟の判決文の要旨。

[環境タバコ煙(ETS)の害について ~主に受動喫煙の害~ の資料]

	資料名	概要
6	松崎道幸氏(医学博士/北海道深川市立病院 内科医長)による意見書	受動喫煙の危険性に関する意見書。 内容 数秒間の受動喫煙でも身体は傷害を受ける 喫煙される車内空気は環境基準を数万倍以上の汚染状態 他
7	大和浩氏(産業医科大学 産業生態科学研究所 労働衛生工学 助教授)による意見書	車内での喫煙による受動喫煙曝露濃度に関する意見書。
8	中田ゆり氏(東京大学大学院 医学系研究科 国際地域保健学教室 客員研究員)による意見書	車内での喫煙によるタバコ粉塵濃度と、受動喫煙曝露における運転手への身体的な影響に関する意見書。

9	1970年代と1980年代の喫煙に関する書籍から考えられる国の責任について	1970年代、1980年代に発刊された喫煙に関する権威ある書籍から、喫煙及び受動喫煙の有害性、危険性等について抜粋した資料。厚生省（当時）の指示のもとで翻訳された書籍も含まれている。書籍提供者：浅野牧茂博士（元国立公衆衛生院 生理衛生学部長）
10	他の環境汚染物質とタバコ煙の有害性の比較及び喫煙規制への諸外国の取り組みについて	受動喫煙の深刻な有害性・危険性について、他の環境汚染物質とタバコ煙を比較した資料と、能動喫煙・受動喫煙に対する国際的知見とその対応についての資料。

[その他の資料]

	資料名	概要
11	『たばこ規制枠組み条約（FCTC）』について	日本政府も署名・批准し、2005年2月に発効した公衆衛生分野での初の国際条約『たばこ規制枠組み条約（FCTC）』について、その内容や目的、発効までの経緯等について。及び本条約の全条文。
12	新聞記事	禁煙タクシー訴訟の判決、及び受動喫煙に関する新聞記事（朝日、毎日、読売、日経、産経、東京、業界紙 他）
13	VTR	1. NHK 総合『ニュース 10』 2004.5.31 車内での喫煙による粉塵調査。 2. テレビ朝日（夕方のニュース）2005.9.16 『煙は1時間充満 タクシー内のたばこに注意』 3. NHK 総合『ニュース 10』 2005.12.20 禁煙タクシー訴訟の判決日の報道。 4. MXTV 『TOKYO MX NEWS』 2005.12.20 禁煙タクシー訴訟の判決日の報道。

資料 6～8 は、禁煙タクシー訴訟においても、東京地裁に提出した意見書。

資料 9～11 は、禁煙タクシー訴訟においても、東京地裁に提出した陳述書で、原告丸山恵梨子氏によるもの。

以 上